

◎ いろいろなことが見える！分かる！感じる！

- 自分や周りの人・物事との関係が少しずつ理解できるようになる時期。
- 様々な遊びや活動に興味をもって取り組む。“できる！”“してみたい！”が増える。
- 遊びや生活を通して、友だちとの関わりも増えていく。



友だちとの関わりの中では、楽しいことだけではなく、小さな争いごとや揉め事、葛藤体験もたくさんあります。子どもにとっては、全てが学びです。

友だちとぶつかったり…つながったり…しながら、自己主張の仕方や友だちの受け入れ方、自己コントロール（自律）の術など、様々なことを身につけていきます。友だちとの関わりを通して、いろいろな思いを感じながら、心の壁を育む時期です。

子どもたちが一人ひとりの個性を認め合い、みんなで力を合わせる心地良さや楽しさも少しずつ経験していけるよう、保育していきたいと思っています。

♪4歳児の遊びの様子♪



● “アイアンマン” になりきるためのアイテム作り♪  
一人だとなかなかできないことも友だちが手伝ってくれたり、一緒に作ったりするとステキな物ができるし、とても楽しくなることを子どもたちは遊びの中から自然と学んでいきます。

● “三つ編み” ♪

一人の興味が友だちに広がってあっという間に三つ編みブームに！！  
やればやるほど、三つ編み上手になり、友だちに「すごいね！」と言われて自信がもて、ますます楽しくなる！



友だちに刺激を受けて“やってみたい”！！  
友だちに認められたことが“自信”になる♪  
同じ物を身に付けることで“仲間意識”や“つながり”を感じる☆



愛育幼稚園の子どもたちは… “何かになって遊ぶ” ことが大好き♪  
電車・バス・飛行機の“運転手さん” …

“お母さん” “お姉さん” …

お医者さんやお店屋さん…

生活の中で“面白そう” “楽しそう” と感じたイメージを遊びに取り入れたり… “こんな風にしたい・なりたい” 気持ちを表現したり…  
イメージする楽しさ・表現する楽しさを感じています♪♪

4歳児のごっこ遊びは、個々のゆるやかなイメージを出し合いながら、形になったり…ならなかったり…  
友だちとイメージが重なり合ったり…時にはぶつかったりしながら…様々なことを学んでいきます。

◎自分のイメージを実現するためにはどうしたらいいかを考えたり…

◎遊びに必要なモノを作ったり…試行錯誤したり…

◎友だちと役割を決めたり…

◎何かに見立てて遊んだり…



写真を見ているだけでもワクワクしますね♪子どもたちのイメージの世界は大人の想像を遥かに越え、本当に豊かで楽しい!!!面白い!!!



♪多様な遊び方・多様な経験で豊かになる子どもの世界♪



コマ回しを楽しんでいた子どもたち。  
普通に回したり…逆さまにして回したり…そのうちにコマの影に気が付いて大騒ぎ!!  
コマ回しひとつでもいろいろな発見があり、その発見を友だちと共有できるようになるのが4歳児。

一つの遊びでも…繰り返し遊んだり、友だちに刺激を受けたりする中で“楽しみ方や発見”が深まったり広まったりします。遊びや関係もゆるやかに継続していきます。



3歳児の経験を基に、してみたい・やってみたいことが増え、身の回りのことへの興味や関心もどんどん広がっていく時期です。子どもたちの興味や関心を支えながら、一緒に多様な経験を積み重ねていきたいなと思っています。



毎年、春に植えたハツカダイコンやキャベツ、ブロッコリーにモンシロチョウがたくさんタマゴを産み付けてくれます。それを大事に育てて（キャベツを家から持ってきたり…糞の掃除をしたり…）、アオムシがサナギに!!  
チョウチョになるのを楽しみに子どもたちは待っています♪♪





“新聞ビリビリ!”

新聞を思い切り破き放題、投げ放題…そんなことも子どもにとっては“遊び”です♪  
こんなことをみんなで一緒に思う存分楽しめるのも4歳児ならではのですね♪♪

“フィンガーペインティング”

心も身体も解放されるからこそ“やってみよう”♪“苦手だな”“嫌だな”…そんなことが表現できるようになるのも4歳児ならではの。先生や友だちと一緒に、みんなで…いろいろな経験を積み重ねていきたいです。



桃太郎から“鬼退治にみんなの力を貸してほしい”と手紙が来てみんなでからだを動かす楽しさを感じながら、修行し、運動会を迎えました♪



イメージを共有する楽しさ…

みんなと一緒にする楽しさ…

を感じながら、少しずつ“力を合わせる”“みんなと一緒に”といった楽しさを知っていきます。

“あんな風にしてみたい”“ああいう風になりたい”と年長組への憧れの気持ちも芽生えていきます♪

子どもたちの育ちは“できた!”“やれた”ということよりも、目には見えにくい“心の育ち”がほとんどです。特に4歳児(年中組)は…色々なことが見え、分かり、感じることができるようになるが故に、“自分”というものを強く意識し、葛藤したり、揺れたりする時期でもあります。

「本当はこうしたいんだけど…素直になれない」『分かってはいるんだけど…できない』周りの思いや先のこと分かるからこそ、悩んだり、躊躇したりします。ともすると、「どうしてやらないの?」『今までできていたのになんで?』と育てにくさを感じたり、子どもたちの内面も複雑かつ繊細になっていくので難しくて分かりにくいと思ったりする年齢でもあります。

でも、だからこそ、多様な価値観や経験を通して、より豊かな内面を育ていける大切な時期なのです。そのためには、一見、マイナスや後戻りに見える姿も、“その子の今”をまるごと受け止めながら、信じて見守っていくことが大切だと考えています。大人が温かいまなざしを降り注ぐと、子どもたちは“徐々に…”“次第に…”“いつの間にか…”成長した姿を見せてくれますよ♪